

2026年10月「西穂高岳独標」山行のご案内

JAC埼玉支部山行 岩場体験② ☆☆

今年度の岩場体験・第2弾は、北アルプスの名峰・西穂高岳へと続く稜線上に位置するピーク「独立標高点(独標)」を目指します。新穂高ロープウェイの利用と、西穂山荘前泊によって、体力の消耗を抑え、岩場への集中力をキープしやすく、落ち着いて参加できるような企画としました。

西穂山荘から独標までは、徐々に岩の露出が増えていくミックスルート。最後の独標への登りは、三点支持を意識するスリリングな岩場ですが、ホールド(手がかり・足がかり)が豊富で、見た目以上に安定して登ることができます。独標の山頂からは、眼前に主峰の西穂高岳と奥穂高岳へ延びる稜線、西には笠ヶ岳、焼岳から乗鞍岳への峰、そして眼下には梓川の流れと上高地などの絶景が広がります。2日間に分けた事で、現地へのアクセスも、宿泊地で絶景を味わうのにも、ゆとりをもてる行程となっています。

1. 山行日程: 2026年10月17(土)~18日(日) 1泊2日
2. 目的の山: 西穂高岳独標 2,701m (北アルプス)
3. 集合: 10月17日(土)12:40 新穂高ロープウェイ 新穂高温泉駅 前
※電車も車も、途中の平湯までは要バス利用(予約制。アクセス後述参照)
4. 行程:

【10/17】RW新穂高温泉駅 13:00 発(2,400円+荷物券料)→13:30 西穂高口駅着

→山行開始 →15:00 西穂山荘着(泊) ※2食付 14,900円

[標準×ゆっくりめ 0.8 累積標高↑276m↓53m 距離1.8Km]

【10/18】西穂高山荘(荷物デポ)7:00 → 7:25 丸山 → 8:35 西穂独標 8:50 → 丸山 →

10:00 西穂山荘(荷物準備)10:20 → 分岐 → 13:30 上高地西穂高岳登山口 →

14:00 上高地BT(下山、解散)

[標準×ゆっくりめ 0.8 +休憩 35分 累積標高↑366m↓1229m 距離6.6Km]

5. 個人装備: 【秋季 小屋泊山行装備】雨具、防寒具(高山の稜線、初雪も有り得る)、

軽アイゼンorチェンスパイク(※山行直前に必要について連絡します)、
ヘルメット、グローブ、エマージェンシーシート、ストック、ヘッドライト、
昼食、非常食、飲料水、着替え、携帯電話、モバイルバッテリー、等

6. 共同装備: 支部旗、トランシーバー

7. 募集人数: 8名 (CL・SLの2名を除いた人数)

8. 担 当: CL朝井紀久子、SL根本忠一

9. 申 込 み: 朝井紀久子 wakuwaku.hitotu@gmail.com 090-9148-6194

①氏名 ②会員番号 ③生年月日(西暦) ④年齢(10/17 現在) ⑤性別 ⑥住所

⑦メールアドレス ⑧携帯電話番号 ⑨緊急連絡先の氏名と電話番号 ⑩山岳保険

⑪集合場所及び帰路の移動手段 以上の項目を記入の上、お申し込み下さい。

※集合場所までの移動の参考 ※下記バス予約は1か月前～(ハイウェイバストットコム)

①平湯まで

【電車の方】 松本まで行き、バス利用

電車 7:00 特急あずさ JR 新宿駅 →9:38 JR松本駅(BTまで徒歩5分移動) →

バス 9:55 松本BT(アルピコ交通、高山濃飛BC行き、平湯まで要予約@3,000 円)→

【車の方】 解散が上高地の為、沢渡で駐車し、バス利用

バス 11:01 沢渡 BT(アルピコ交通、高山濃飛BC行き、平湯まで要予約@1,500 円)→

②平湯から新穂高RWまで(電車組も車組も共通)

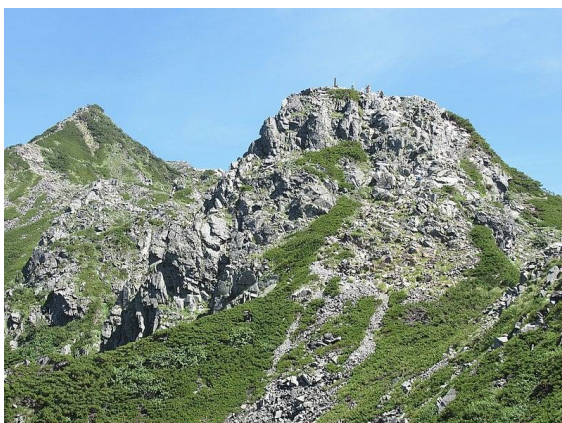
11:23 平湯BT(到着、乗換え。濃飛バス、新穂高RW行き、@910 円) 11:40 発→

12:25 新穂高RW(着)

※ 台風など悪天候の場合、また積雪で凍結などある場合は、山行中止の可能性があります。

(原則、2日前には連絡します。キャンセル料は山荘は1日前から 11,000 円、バスは出発前まで 100 円)

締切期日 9月18日(金)まで。 ※但し定員に達したら締め切ります。



2

